

●学校の概要

学校名	水戸看護福祉専門学校		
認可	平成 20 年 3 月		
設置者	学校法人 八文字学園		
学校長	武島 玲子		
所在地	〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-16-12		
電話	029-221-8050	F A X	029-221-8858
学校情報公開	URL : http://www.mito.ac.jp/		
総定員	500 名（教育・社会福祉専門課程 80 名、医療専門課程 420 名）		
設置学科	介護福祉学科（昼間 2 年）※2019 年度より募集停止 看護学科（昼間 3 年、通信制 2 年）		
教育目標	<p>地域で活躍する看護職や対人援助職である介護福祉士の育成と育成に必要となる豊かな人間性、創造性、協調性、実践力の専門性の習得と確立を教育目標とします。</p>		
学校の特色	<p>水戸看護福祉専門学校の主な特色は以下の通りです。</p> <p>(1) 福祉・保健・医療分野における多様な資格取得を支援する充実の教育体制</p> <p>(2) 圧倒的に高い有効求人倍率と就職率・第 1 希望内定率</p> <p>(3) 地域の中核病院や介護施設との連携を重視し、社会貢献できる学校づくり</p>		
キャリア教育	<p>学校法人八文字学園の基本コンセプトである「人を育てる学園」に即して、「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「よりよいマナー」という 3 つの柱を掲げ、社会が求める人材教育を行います。そのために、地域と連携して看護実習、介護実習、インターンシップ実習、各種ボランティアの参加を積極的に推し進め、資格を取得します。</p>		

●教職員数

学校長	教員	講師	事務職員	計
1	19	85	20	125

● 収容定員

学科	収容定員
介護福祉学科	80
看護学科（3年課程）	120
看護学科（通信課程）	300

● 学 費（1年次）

費目	介護福祉学科 （2年課程）	看護学科 （3年課程）	看護学科 （通信制）
入学金	100,000	150,000	100,000
実習費	100,000	170,000	30,000
施設設備費	160,000	200,000	
授業料	600,000	600,000	420,000
その他	165,000	307,000	70,000
合計	1,125,000	1,427,000	620,000

表1 (科目編成表) 介護福祉学科

教育内容	科目名	総合計		講義 形態	1年		2年		
		時間	単位		時間	単位	時間	単位	
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間福祉論	30	2	講義	30	2		
	人間関係とコミュニケーション	人間関係論	30	2	講義	30	2		
		手話	30	1	演習	30	1		
	社会の理解	法と社会保障	30	2	講義	30	2		
		社会福祉の基礎	30	2	講義	30	2		
	必須科目	文化と礼作法Ⅰ(国際教養)	30	2	講義	30	2		
		文化と礼作法Ⅱ(美容)	60	4	講義			60	4
情報リテラシー		30	1	演習	30	1			
合計		270	16		210	12	60	4	
介護	介護の基本	介護福祉論Ⅰ	60	4	講義	60	4		
		介護福祉論Ⅱ	30	2	講義	30	2		
		介護福祉論Ⅲ	30	2	講義			30	2
		介護の基本(リハビリ)	30	2	講義			30	2
		行動支援(応用行動分析)	30	2	講義			30	2
	コミュニケーション技術	コミュニケーション	30	1	演習	30	1		
		対人関係論	30	2	講義			30	2
	生活支援技術	生活自立支援Ⅰ	60	2	演習	60	2		
		生活自立支援Ⅱ	60	2	演習	60	2		
		生活自立支援Ⅲ	30	1	演習			30	1
		生活自立支援Ⅳ	30	1	演習			30	1
		家政学	30	2	講義			30	2
		レクリエーション活動援助法Ⅰ	60	2	演習	60	2		
		レクリエーション活動援助法Ⅱ	30	1	演習	30	1		
		生きがい支援技術Ⅰ	30	1	演習	30	1		
		生きがい支援技術Ⅱ	60	2	演習			60	2
	生きがい支援技術Ⅲ	60	2	演習			60	2	
	介護過程	介護過程理論Ⅰ	60	4	講義	60	4		
		介護過程理論Ⅱ	30	2	講義	30	2		
		介護過程実践	30	2	講義			30	2
		介護サービス論	30	2	講義	30	2		
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	60	2	演習	60	2		
		介護総合演習Ⅱ	60	2	演習	60	2		
		介護総合演習Ⅲ	30	1	演習			30	1
	介護実習	介護実習Ⅰ	45	1	実習	45	1		
		介護実習Ⅱ	90	2	実習	90	2		
		介護実習Ⅲ	135	3	実習	135	3		
		介護実習Ⅳ	135	3	実習			135	3
		在宅介護実習	45	1	実習			45	1
	合計		1440	56		870	33	570	23
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	基礎心理	30	2	講義	30	2		
		生涯過程	30	2	講義			30	2
	認知症の理解	認知症の理解Ⅰ	30	2	講義	30	2		
		認知症の理解Ⅱ	30	2	講義	30	2		
	障害の理解	障害の理解Ⅰ	30	2	講義	30	2		
		障害の理解Ⅱ	30	2	講義			30	2
	こころとからだのしくみ	基礎医学Ⅰ	30	2	講義	30	2		
		基礎医学Ⅱ	30	2	講義	30	2		
		基礎医学Ⅲ	30	2	講義			30	2
		精神保健	30	2	講義			30	2
合計		300	20		180	12	120	8	

教育内容		科目名	総合計		講義 形態	1年		2年	
			時間	単位		時間	単位	時間	単位
医療的 ケア	医療的ケア	医療的ケア I	68	4	講義	68	4		
		医療的ケア II	72	2	演習			72	2
	合 計		140	6		68	4	72	2
その 他	その他	介護事務	90	3	演習	30	1	60	2
		住環境支援技術	60	4	講義	60	4		
		国試対策	120	8	講義	60	4	60	4
		卒業研究	120	4	演習			120	4
	合 計		390	19		150	9	240	10
総合計			2540	117		1478	66	1062	45

●各学科の教育（看護学科）

入学者に関する受け入れ方針（アドミッションポリシー）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の意欲があり、看護学を学ぶために必要な基礎的学力を備えている 2. 学びを継続し、自身を向上させる努力ができる 3. 様々な人々と関わるができる基本的なコミュニケーション力を持ち、相手の気持ちや意見を尊重することができる 4. 看護職の資格取得への強い意志を持っている 	
カリキュラム	
・科目編成及び授業時数 別表 1（教育課程）参照	
進級・卒業の要件（成績評価基準、卒業・修了の認定基準）	
1. 成績評価	成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、50点以上を合格とする素点による評価 ・ A（80点以上） ・ B（70点以上） ・ C（60点以上） ・ D（不合格）
2. 進級要件	学則施行細則第 10 条のとおり
3. 卒業要件	学則施行細則第 11 条のとおり
目標とする資格・検定試験	
・看護師（国家資格）	

別表1 (教育課程) 看護学科 ※新カリキュラム (1年次)

区分	教育内容	科目名	年次	単位	授業時数
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解	論理的思考	3	1	30
		物理学	1	1	15
		情報科学と統計	3	1	30
		哲学	1	1	30
		倫理学	1	1	15
		心理学	2	1	30
		家族と社会	1	1	30
		教育学	1	1	30
		人間関係論Ⅰ (コミュニケーション)	1	1	30
		人間関係論Ⅱ (討議法)	2	1	15
		人間関係論Ⅲ (カウンセリング)	2	1	30
		健康と障がい	1	1	15
		臨床英語の基礎	3	1	30
ビジネスマナー	1	1	15		
	小計		14	345	
専門基礎分野	人体の構造と機能	生化学	1	1	30
		解剖生理学Ⅰ	1	1	30
		解剖生理学Ⅱ	1	1	30
		解剖生理学Ⅲ	1	1	30
		解剖生理学Ⅳ	1	1	15
	疾病の成り立ちと回復の促進	薬理学の基礎	1	1	30
		微生物学	2	1	30
		栄養学	2	1	30
		疾病理解の看護学的視点	1	1	30
		病態生理学 (診断と治療・がんの診断と治療)	1	1	30
		臨床病態学Ⅰ (呼吸器・循環器疾患)	1	1	30
		臨床病態学Ⅱ (血液・造血器・消化器疾患)	1	1	15
		臨床病態学Ⅲ (腎・泌尿器・内分泌・皮膚疾患)	1	1	15
		臨床病態学Ⅳ (運動器疾患とリハビリ、眼科耳鼻科、脳神経疾患)	1	1	15
	臨床病態学Ⅴ (精神障害)	1	1	15	
	臨床病態学Ⅵ (小児・女性生殖器)	1	1	30	
	健康支援と社会保障制度	医療概論	1	1	15
		社会保障制度の基本と社会保険制度	3	1	15
		公衆衛生	3	1	30
		関係法規	3	1	30
		社会福祉Ⅰ (日本の保健医療福祉)	2	1	15
	社会福祉Ⅱ (日本の保健医療福祉の実際)	3	1	15	
	小計		22	525	
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	1	30
		共通基本技術 (コミュニケーション・記録・報告・観察・感染予防・指導技術)	1	1	30
		生活援助技術Ⅰ (環境・事故防止)	1	1	30
		生活援助技術Ⅱ (食事・排泄)	1	1	30
		生活援助技術Ⅲ (活動・休息・姿勢)	1	1	30
		生活援助技術Ⅳ (清潔・衣生活)	1	1	30
		診療援助技術Ⅰ (検査・診察・採血等)	1	1	30
		診療援助技術Ⅱ (与薬)	1	1	30
		臨床看護総論	1	1	30
		フィジカルアセスメント	1	1	30
		看護過程	1	1	30
	小計		11	330	

区分	教育内容	科目名	年次	単位	授業時数
専門分野	地域・在宅看護論	在宅看護論（概論）	2	1	15
		暮らしを支える看護Ⅰ（生活を支える看護）	2	1	30
		暮らしを支える看護Ⅱ（生活を支える地域包括ケアシステム）	2	1	15
		家族看護学	2	1	15
		在宅療養を支える看護Ⅰ（在宅看護技術）	2	1	30
		在宅療養を支える看護Ⅱ（看護過程）	2	1	30
	成人看護学	成人看護学概論	1	1	30
		成人看護学Ⅰ（急性期）	2	1	30
		成人看護学Ⅱ（周手術期）	2	1	30
		成人看護学Ⅲ（回復期・リハビリ期）	2	1	30
		成人看護学Ⅳ（慢性期）	2	1	30
		成人看護学Ⅴ（終末期）	2	1	30
	老年看護学	老年看護学概論	1	1	15
		老年看護学Ⅰ（高齢者の生活を整える看護）	2	1	30
		老年看護学Ⅱ（高齢者のヘルスアセスメント）	2	1	15
		老年看護学Ⅲ（高齢者への援助技術）	2	1	15
		老年看護学Ⅳ（看護過程）	2	1	15
	小児看護学	小児看護学概論	2	1	15
		小児看護学Ⅰ（健康障害をもつ小児の生活と看護）	2	1	30
		小児看護学Ⅱ（病児の看護）	2	1	30
		小児看護学Ⅲ（看護過程）	2	1	15
	母性看護学	母性看護学概論	2	1	15
		母性看護学Ⅰ（人間の性と生殖）	2	1	15
		母性看護学Ⅱ（マタニティサイクル）	2	1	30
		母性看護学Ⅲ（周産期の援助技術）	2	1	15
		母性看護学Ⅳ（看護過程）	2	1	15
	精神看護学	精神看護学概論	2	1	15
		精神看護学Ⅰ（精神の看護に共通する技術）	2	1	30
		精神看護学Ⅱ（精神障害のある対象の看護）	2	1	30
		精神看護学Ⅲ（看護過程）	2	1	15
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ（チーム医療と多職種連携）	3	1	15
		看護の統合と実践Ⅱ（看護研究）	3	1	30
		看護の統合と実践Ⅲ（看護技術の統合）	3	1	30
		看護の統合と実践Ⅳ（多重課題）	3	1	30
		看護マネジメント・医療安全	3	1	30
		災害看護と国際看護	3	1	30
小計				36	840
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	1	40	
	基礎看護学実習Ⅱ	1	1	40	
	基礎看護学実習Ⅲ	1	2	80	
	基礎看護学実習Ⅳ	2	2	80	
	地域の実習	3	2	80	
	地域・在宅看護論実習	3	2	80	
	成人・老年看護学実習Ⅰ	2・3	2	80	
	成人・老年看護学実習Ⅱ	2・3	2	80	
	老年看護学実習	2	1	40	
	小児看護学実習Ⅰ	2	1	40	
	小児看護学実習Ⅱ	3	1	40	
	母性看護学実習	3	2	80	
	精神看護学実習	3	2	80	
	看護の統合と実践実習	3	2	80	
	小計				23
合計				106	2960

別表1 (教育課程) 看護学科 ※旧カリキュラム (2・3年次)

区分	教育内容	科目名	年次	単位	授業時数
基礎分野	科学的思考の基盤	論理的思考	2	1	30
		情報科学と統計	1	1	30
	人間と生活・社会の理解	哲学	1	1	30
		心理学	2	1	30
		家族と社会	1	1	30
		教育学	1	1	15
		人間関係論Ⅰ (コミュニケーション)	1	1	30
		人間関係論Ⅱ (討議法)	2	1	15
		人間関係論Ⅲ (カウンセリング)	2	1	30
	健康と障がい	1	1	15	
小計				10	255
専門基礎分野Ⅰ	人体の構造と機能	生化学	1	1	30
		解剖生理学Ⅰ	1	1	30
		解剖生理学Ⅱ	1	1	30
		解剖生理学Ⅲ	1	1	30
		解剖生理学Ⅳ	1	1	15
	疾病の成り立ちと回復の促進	薬理学の基礎	1	1	30
		臨床病態学Ⅰ (診断と治療・がんの診断と治療)	1	1	30
		臨床病態学Ⅱ (呼吸器、循環器疾患)	1	1	30
		臨床病態学Ⅲ (血液・造血器疾患、消化器疾患)	1	1	30
		臨床病態学Ⅳ (腎・泌尿器、生殖器疾患)	1	1	30
		臨床病態学Ⅴ (脳神経、運動器疾患とリハビリ)	1	1	30
		臨床病態学Ⅵ (精神障害)	1	1	30
		臨床病態学Ⅶ (小児・女性生殖器)	1	1	30
	微生物学	2	1	30	
	栄養学	2	1	30	
	健康支援と社会保障制度	医療概論	1	1	15
		医療安全	3	1	15
		公衆衛生	2	1	15
		関係法規	2	1	15
		社会福祉	1	2	30
小計				21	525
専門分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ (看護学概論)	1	1	30
		基礎看護学Ⅱ (コミュニケーション、看護教育)	1	1	30
		基礎看護学Ⅲ (活動と休息、環境整備)	1	1	30
		基礎看護学Ⅳ (清潔・衣生活と排泄)	1	1	30
		基礎看護学Ⅴ (安楽促進と呼吸循環を整える技術)	1	1	30
		基礎看護学Ⅵ (与薬・注射・栄養・創傷管理)	1	1	30
		基礎看護学Ⅶ (生体観察、検査介助)	1	1	30
		基礎看護学Ⅷ (系統的観察法)	1	1	30
		基礎看護学Ⅸ (看護過程)	1	1	30
		基礎看護学Ⅹ (臨床看護学総論)	1	1	30
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	1	45
		基礎看護学実習Ⅱ	2	2	90
		小計			
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学Ⅰ (概論)	1	1	30
		成人看護学Ⅱ (リハビリテーション期①)	2	1	30
		成人看護学Ⅲ (リハビリテーション期②)	2	1	30
		成人看護学Ⅳ (周手術期)	2	1	30
		成人看護学Ⅴ (慢性期)	2	1	30
		成人看護学Ⅵ (ターミナル期)	2	1	30

区分	教育内容	科目名	年次	単位	授業時数	
専門分野Ⅱ	老年看護学	老年看護学Ⅰ（概論）	1	1	30	
		老年看護学Ⅱ（高齢者の生活を整える看護）	1	1	30	
		老年看護学Ⅲ（治療を必要とする高齢者の看護）	2	1	30	
		老年看護学Ⅳ（看護過程）	2	1	30	
	小児看護学	小児看護学Ⅰ（概論）	1	1	30	
		小児看護学Ⅱ（健康障害をもつ小児の生活と看護）	2	1	30	
		小児看護学Ⅲ（病児の看護）	2	1	30	
		小児看護学Ⅳ（看護過程）	2	1	30	
	母性看護学	母性看護学Ⅰ（概論）	1	1	30	
		母性看護学Ⅱ（性と生殖）	2	1	15	
		母性看護学Ⅲ（マタニティサイクル）	2	1	30	
		母性看護学Ⅳ（看護過程）	2	1	30	
	精神看護学	精神看護学Ⅰ（概論）	1	1	30	
		精神看護学Ⅱ（援助論1）	2	1	30	
		精神看護学Ⅲ（援助論2）	2	1	30	
		精神看護学Ⅳ（看護過程）	2	1	15	
	臨地実習	成人看護学実習Ⅰ	3	2	90	
		成人看護学実習Ⅱ	3	2	90	
		成人看護学実習Ⅲ	3	2	90	
		老年看護学実習Ⅰ	2	2	90	
		老年看護学実習Ⅱ	3	2	90	
		小児看護学実習Ⅰ	2	1	45	
		小児看護学実習Ⅱ	3	1	45	
		母性看護学実習	3	2	90	
		精神看護学実習	3	2	90	
		小計		38	1350	
	統合分野	在宅看護論	在宅看護論Ⅰ（概論）	2	1	15
			在宅看護論Ⅱ（看護技術）	2	1	30
在宅看護論Ⅲ（看護過程）			2	1	30	
在宅看護論Ⅳ（地域看護）			2	1	15	
看護の統合と実践		看護の統合と実践Ⅰ（チーム医療と看護管理）	3	1	15	
		看護の統合と実践Ⅱ（看護技術の統合）	3	1	30	
		看護の統合と実践Ⅲ（災害看護・国際看護）	3	1	30	
		看護の統合と実践Ⅳ（看護研究）	3	1	30	
臨地実習		在宅看護論実習	3	2	90	
		看護の統合と実践実習	3	2	90	
	小計		12	375		
	合計		94	2940		

●その他の教育活動

学校行事等			
・学園合同バスハイク		・ヤツログ（屋外レクリエーション）	
・実習反省会、卒業研究発表会		・国際福祉機器展見学（介護福祉学科）	
・学会参加、学会発表（介護福祉学科）		・病院解剖見学（看護学科）	
・宣誓式（ナイチンゲールの誓い：看護学科）		・正常解剖見学（看護学科）	
ボランティア活動等			
地域清掃活動（年3回）	献血活動（年2回）	実習施設による依頼行事への参加	など

●学生支援

学生生活支援	
担任および副担任による生活指導の実施 担任および副担任による個別相談の対応 スクールカウンセリング（月2回定期的） など	
経済的支援	
日本学生支援機構奨学金制度活用、介護福祉士等修学資金・看護師修学資金の促進 生活福祉資金貸付制度、母子福祉資金、国の教育ローンの紹介 特待生入学生制度（資格特待、学業特待）、オープンキャンパス特典、精勤特待生制度の整備 電車通学者に対する定期券半額負担制度、水戸駅から当校までのスクールバスの整備 学校近郊のアパート等の紹介制度 遠隔地学生のための一人暮らし支援制度の整備（家賃一部負担） 学生支援センターの個別対応による経済的支援の実施（学費分納等） など	
就職支援	
学生を対象とした就職説明会の実施 個別就職相談、個別面接指導、個別履歴書作成指導などの徹底した個別就職支援 病院等を招いての就職説明会 など	
その他の支援	
国家試験対策講座	
・1および2年生 年6回 ・3年生 年9回（既卒生は卒後2年まで受講可能）	
国家試験のための定期模擬試験	
・1年生 年1回 ・2年生 年2回 ・3年生 年8回	